

2025 年度課題曲についての Q & A

【課題曲 I】

Q1: TomTom について、場面によって音高の違う 2 台を使用してよいか。

A1: 使用を認めます。

Q2: 冒頭の「Sleigh Bells」を「神楽鈴」で演奏することは可能でしょうか

A2: 「神楽鈴」の代替につきましては、認められません。

Q3: 練習番号 C の 1 ～ 7 小節目

- ・ Tuba には「solo or soli」と記載のうえで音符があります。
- ・ BassCl. と B.Sax. には「solo or soli」と記載のうえで Tuba と同じフレーズがカッコ書きのマメ譜（小音符）で書いてあります。
- ・ スコアの解説には、1 つの楽器の solo or soli の他に「B.Cl.と Bar.Sax.」「B.Cl.と Bar.Sax.、Tuba」「A.Sax.と T.Sax.」のように異なる複数の楽器で演奏しても構いません。と記載があります。

この場合、次の①～③の演奏は可能なのか。

①Tuba の solo

②Tuba と B.Sax.による soli

③Tuba がいる団体が、Tuba は吹かずに B.Sax.の solo として演奏。(Tuba と B.Sax.の soli にしない)

A3: ご質問につきまして、作曲者に確認いたしました。解説文にある通り、ご質問いただきました①～③の演奏は可とします。

【課題曲 II】

Q1: F (75 小節目～82 小節目) について

①IVに割り当てられている Bsn.、B.Cl.、B.Sax.、の全ての奏者がおらず、金管楽器（チューバ）で代わりに演奏してもよろしいでしょうか。奏者がいないのでステージには木管低音の3種類の楽器はありません。

②上記のシチュエーションでIVをチューバで演奏する場合、I～IIIも金管楽器に変更することは認められるでしょうか。

③例えば、パート I について、前半の四小節をフルート一人、後半の四小節をクラリネット一人、のように分けて演奏することは可能でしょうか。

④IVを Tuba で代奏することについてです。前半の四小節は Tuba で演奏するには少し音域が高いのですが、前半を音域に適する Hr、Trb、Euph のいずれかの一人が演奏し、後半の四小節を Tuba で演奏することは可能でしょうか。

A1: ①編成内の楽器で代替できるため、Tuba で演奏することは可能です。

② I II IIIを演奏できる木管楽器パートの奏者がいるのであれば、楽譜通り木管楽器で演奏してください。金管楽器に変更することは認められません。

③、④課題曲 II の F のページの欄外に「各パートを担当する奏者を 1 名ずつ選び」と記載がございますので、途中で交代することはできません。

【課題曲 III】

Q1: 39 小節 4 拍目。

クラリネット III 実音 A 音になっているが他の、フルート II、E♭クラリネットは実音 G♭になっている。和音上実音 A 音があるが、サブメロディーのアルト・サクソフォーン I が A 音で合奏しにくい。

A1: 楽譜通りです。音の誤りはありません。

Q2: 29 小節 アウフタクトから 30 小節 3 拍目

アルトサクスが一人しかいない、アルトサクスが一人もいない、テナーサクスがいない、バリトンサクスがいない、といった場合、同じ音域の他の楽器で演奏してよいか。

A2: 「課題曲演奏上の注意事項」の 2 に準じます。

Q3: 31 小節 アウフタクトから 32 小節 3 拍目

①フルートが一人しかいない・一人もいない、クラリネットが一人しかいない・一人もいない場合、同じ音域の他の楽器で演奏してよいか。

②オーボエがいて、アルトクラリネットがいない場合、アルトクラリネットのパートを同じ音域の他の楽器で演奏してよいか。(オーボエ・アルトクラリネットのいる、いないが逆の場合も)

③バスクラリネットがいて、ファゴットがいない場合、ファゴットのパートを同じ音域の他の楽器で演奏してよいか。(バスクラリネット・ファゴットのいる、いないが逆の場合も)

④アルトサクスに書かれている、マメ譜(小音符)について、オーボエ・アルトクラリネットがいない場合は、他の楽器ではなく、アルトサクスで演奏しなさいという意図か。

⑤バリトンサクスに書かれている、マメ譜(小音符)について、バスクラリネット・ファゴットがいない場合は、他の楽器ではなくバリトンサクスで演奏しなさいという意図か。

A3: ①～③ 「課題曲演奏上の注意事項」の 2 に準じます。

④⑤ 一般的には、マメ譜(小音符)が書かれた楽器で演奏しても良いとの意図で書かれています。その楽器がない場合は、「課題曲演奏上の注意事項」の 2 に準じます。

Q4: テナーサクスが 1 本しかいないが、時折不足しているアルトクラのパートを吹くことは認められると解釈してもよろしいですか？

A4: そのような解釈で良いですが、アルトクラリネットのパートをテナーサクスが演奏しているときに、本来のテナーサクスのパートを他の楽器で演奏することは認められません。

Q5: 練習番号 D においての () 書きの譜面はアルトクラやファゴット、オーボエなどのオプションでしょうか。これらの楽器が無い場合は、この () 書きの楽器で演奏しなければならないということですか？

A5: オプションではありません。一般的にマメ譜（小音符）は、指定された楽器がない場合はこの楽器で演奏しても良いという意味で書かれています。

Q6: 31～32 小節目

オーボエ、アルトクラに 1 player の表示があり () つきで 1st クラに 1player 書いてあるマメ譜（小音符）、1st アルトサックスに 1player と書いてないマメ譜（小音符）があります。

①オーボエ、アルトクラがない場合の代替と思われますが、オーボエと 1st クラ、アルトクラとアルトサックス 2 本ずつの演奏は可能でしょうか。

②オーボエはあるが 1st クラで演奏、またはアルトクラはあるがアルトサックスで演奏などどちらかを選択することはできるのでしょうか。

A6: ①パターン 1 オーボエもアルトクラリネットもない場合、1st クラリネットと 1st アルトサックスの演奏は可。

パターン 2 オーボエがなくアルトクラリネットはある場合、1st クラリネットとアルトクラリネットの演奏は可。音域的な解釈から 1st アルトサックスとアルトクラリネットの演奏は不可。

パターン 3 オーボエがありアルトクラリネットがない場合、オーボエと 1st アルトサックスの演奏は可。音域的な解釈からオーボエと 1st クラリネットの演奏は不可。

②スコアに指定した楽器がある場合には、代替の楽器による演奏はできません。

【課題曲 IV】

Q1: 45 小節 4 拍目について

アルト・サクソフォーンがここからメロディーなのですが、39 小節目からクラリネットが mf でメロディー、他は mp で伴奏なのですが、サクソフォーンは強弱変わっていない。このままだとサクソフォーンのメロディーとサブになるところが埋もれてしまうのでは？

A1: 楽譜通りです。強弱記号の誤りはありません。